

福島靖正さん(厚生労働省健康局長)

2013年にスタートした国民健康づくり運動「健康日本21(第二次)」は、今後10年でCOPDの認知度を現在の25%から80%まで向上させること、およびCOPDをはじめ多くの生活習慣病の主因であるたばこ対策を重要な柱のひとつとしていきます。

代読 正林督章さん(厚生労働省健康局健康課課長)

中川俊直さん(慢性呼吸器疾患対策推進議員連盟事務局長 衆議院議員)

COPDは、すでに日本人の死因の第10位に数えられる深刻な疾患ですが、まだ予防や早期発見の大切さが国民のみならず十分に浸透していません。



工藤翔二さん(公益財団法人結核予防会 理事長)

本日のテーマは肺の慢性疾患である「COPD」です。専門家による講演やパネルディスカッションを通じてこの病気に



紙 上 探 録

第9回 呼吸の日記念フォーラム 2016

5月9日 呼吸の日

肺の健康を守るために。呼吸のこと、空気のこと、一緒に考えてみませんか。

肺の健康

普段あまり意識されない呼吸や肺の大切さについて考えるフォーラムが、今年も5月9日「呼吸の日」を記念して開催された。

みんな知ろうCOPD(慢性閉塞性肺疾患)

主催:公益財団法人結核予防会、公益社団法人日本医師会、一般社団法人日本呼吸器学会(本部・関東支部共催) 協力:一般社団法人COPD啓発プロジェクト



禁煙というのは苦しいものですが、患者さんにはそれなりの覚悟を持って臨んでいただく必要があります。

植木 最近の治療薬は現在の症状を改善するだけでなく、服用し続けることで長期的に症状の悪化を抑える効果もあるの

山口 ただ最近では、街なかで階段を使うことも少ないので、息切れがあっても気付かずに

橋本 初めに、COPDの早期診断のポイントを教えてください。

植木 典型的な症状は息切れやせきですが、自覚症状があっても年齢のせいだと考え

黒澤 一さん(東北大学大学院医学系研究科/産業医学分野教授)

「ありふれた肺の病気COPDを知る」診療の現場から



成島 病気の認知度を上げるには、禁煙や受動喫煙対策の大切さと一緒に伝えていくのが効果的ではないでしょうか。

橋本 患者さんの立場で望むことはありますか。

成島 病気の認知度を上げるには、禁煙や受動喫煙対策の大切さと一緒に伝えていくのが効果的ではないでしょうか。

工藤 COPDの怖さや検診の大切さを行政がどのように広報しているか、東京都の取り組みを教えてください。

千住 松浦市では50歳以上で息切れがあると申告した人に呼吸機能検査を実施し、その結果COPDの疑いがある人を専門医に紹介する仕組みをつくり

橋本 COPDを早期発見するために、健康診断でのスパイロメトリーの普及が欠かせません。

工藤 COPDの認知度を上げるための施策として「都道府県や市町村の健康増進計画にCOPDの認知率向上を入れること」

三嶋 呼吸機能は誰でも年齢とともに低下していき、COPDの人ではその悪化のスピードが加速されており、一見、肺の老化がとて早く進行した



「東京都医師会の取り組み」尾崎治夫さん(東京都医師会会長)

現在、東京23区では高齢者のための慢性期病床が足りず、都下や近隣の病院や介護施設にケアの必要な人を受け入れてもらっている状況です。

橋本 COPDを早期発見するために、健康診断でのスパイロメトリーの普及が欠かせません。



三嶋 呼吸機能は誰でも年齢とともに低下していき、COPDの人ではその悪化のスピードが加速されており、一見、肺の老化がとて早く進行した



「呼吸リハビリテーション実演 正しい呼吸方法の体験」

道永麻里さん(公益社団法人日本医師会 常任理事)

健康やかな生活を送るためには、呼吸器の健康に注目することが非常に重要です。



「日野皓正 ジャズスペシャルライブ」

あなたも肺年齢を測ってみませんか?